



令和三年春 (三月二十三日撮影)



護

国

ご挨拶

愛媛縣護國神社

宮司 額田照彦

今年、平成二十三年三月十一日に発生した東日本大震災から十年の節目の年が経過致しました。この大震災は原発事故とも重なり、日本のみならず世界中に衝撃と不安を与え、考え方、価値観にも大きな影響を及ぼしたように思います。人と人との絆の大切さがさかんに叫ばれ、実際多くの人々がボランティア活動や支援活動を行ったことは、価値観の変化の表れだと思えます。

幸福を感じる要素として以前は、経済中心の考え方であったように思われますが、震災後は経済的な安定や効率至上の考え方から「経済社会状況」や「心身の健康」「家族や地域との絆や関係」「環境問題」等に重きがおかれるようになってきたと感じられます。経済的な安定も確かに必要で重要ではありませんが、現在は「生活の質」や「心の豊かさ」を重視しようとする姿勢が感じられるように思

御祭神数

当神社に御鎮祭申し上げております御祭神は四万九千七百二十八柱です。

われます。

最近では「数十年に一度」「数百年に一度」といわれる災害が世界中で毎年のように発生し、人々の不安感は一層増幅されてきたように思います。そこに追い打ちをかけたのが、昨年より世界中を襲った、新型コロナウイルスのパンデミックです。この爆発的な感染拡大は、毎日のテレビ、インターネット、新聞報道等により「自分も感染するのではないか」「誰かに感染させてしまうのではないか」という不安を常に抱かせています。またそれだけではなく、メディアの毎日の報道により、様々な不安が多方面に亘って広がり非日常的な生活を強いられるのが現状であります。

一刻も早い効果的な対策対応により、世界中のコロナウイルス感染症が鎮静化終息し、日常の生活が戻ることを祈るばかりです。

今年の春季慰霊大祭も不本意ではありますが、昨年同様に御遺族・崇敬者・参拝者の皆様方の健康、安全を考慮し、規模を縮小してのご奉仕となりました。今秋の慰霊大祭には御遺族・崇敬者の皆様方にご参列頂き、通常慰霊大祭が齎行できることを切に祈念する次第でございます。

## 父の遺品

愛媛縣護國神社崇敬会

会長 愛原 章

平成十二年に母が亡くなって、遺品の整理をしていた時に父の遺品を見つけたのだが、その大半は、西予市宇和町の「愛媛県歴史文化博物館」へ、平成二十年頃に保存をお願いしたので、手元にはコピーとして、カメラで撮った写真しか残っていない。

その頃、同博物館では「愛媛と戦争」をテーマにした展示があつて、それを見た後日、顔見知りの学芸員に相談してお願いしたことがある。今は様変わりして、常設展は旧石器時代から始まって、愛媛のくらしとか四国遍路などが主な展示となつて、戦争だとか戦災だとかといったことについての記述がないことが残念だとお話した。

既に世の中変わつてしまつて、今の若い学芸員には、戦争とか戦災といった言葉は頭がないようだ。失礼なことを言つてしまったが、そんな気がする。

それで、まさか愛媛縣護國神社に、「祈念史料室みゆき」ができるとは思つてもいなかったのですが、父の遺品の大半の保存をお願いしたことを今は少し後悔している。

近所の歯医者さん（六十歳前後）が、時々私の名前が新聞に出ていることもあり、戦争

のことは何も知らないからとか、習っていないからとか言つて私に尋ねてくる。学校で教えていないのなら仕方がないが、日本は何故戦争をしたのか、何故負けたのかということくらいは、きちんと教えるべきで、平和を口にしても、平和とは何かも知らない人に、その有り難さが分かつてもらえないはずがない。だから、靖國神社や護國神社へも参拝をしない。

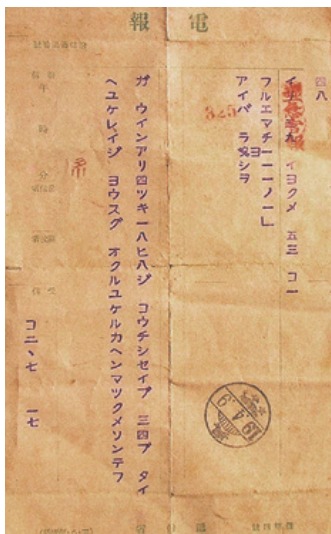
私は警報が鳴つて下校する途中、米軍の艦載機から機銃掃射を浴びて、しばらく起き上がる事ができなかったし、伯母の家で田圃に出ていた時、少し離れた所へ日本の戦闘機がエンジンの故障で墜落した時、村の大人が大勢竹槍を持つて集まっていたのを覚えている。これが米軍の艦載機で、相手が武器でも持つていたら、どうなつたかと思つたことがあるし、米軍のB29が市街地に焼夷弾を投下して、悠々と南の方へ帰つて行くのを防空壕の中から見ていた。焼け野原になつた市街地へ、親戚の安否を確かめに行つて、まだ熱い道路を歩いて異臭が漂う被災地へ、足を踏み入れたことがある。幸い親戚の家に被害はなかったが、近所にあつたラムネ屋の、あの堅いビンが溶けて岩のように固まつていたのを覚えている。

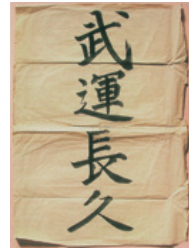
これが、私が体験した戦争なのだが、戦争が終わつて帰還した兵隊さんに、普通なら

「ご苦労さん」とでも言うべきだと思つたのに、「お前らが負けたんだらう」と言つた人がいる。戦争が終わつた途端に、人の心は変わつてしまつたような気がしたが、こうした人たちは、平和を口にする資格はないと思う。そんな人が、「特攻」と言えば戦争を美化するなどと言うのだろうか。だが「散る桜残る桜も散る桜」といつた、辞世の句を詠んで散華した人たちの気持ちを汲んで、平和を口にしてほしいと思う。

少し話がそれたが、父の遺品の中の電報をよく見てほしい。『動員（ガウインは間違い）』アリ四月十八日八時高知市西部三四部隊へユケ令状（召集令状）スグ送ルユケルカ返マツ久米村長』とある。

当時、私たち一家は、住み慣れた京都の伏見から広島市へ、更に呉市へと転居し、父と母は呉市の海軍工廠へ勤めていたが、これは徴兵検査を受けた、本籍地の村長からの電報





で、国から征けと言われたことを、遺族は決して忘れてはいけな思っている。

NOとは言えなかった時代だったので、戦争が終わってから近所の人に、行方不明だと言って征かなかった人が、後日、床下に隠れていたのが分かって、堀之内で銃殺され、家族が泣き泣き遺体を引き取りに行つたと、話していたのを聞いたことがある。

そして、「武運長久」は、母が父に持たせたものだが、武運拙く、出征した年の十二月に、武漢の陸軍病院（現在は武漢大学）で亡くなった。

また、遺品には父の髪の毛が少し束になって残っていた。これは父が、長髪を丸刈りにした頃に既に覚悟して残していたものだと思う。

最後に出てきたのが、戦後のタケノコ生活で、食料と交換してしまった父の着物が一枚だけ残っていた。いい着物だと思いが私が見ると少し足らずなので、父は私より少し背が低かったようだ。この髪の毛と着物は、私

が死んだ時に一緒に棺桶に入れてほしいと、家内に頼んである。

遺児はお互いに、似たような経験をできていると思うが、子どもにはこうした苦い経験をさせたくないと思っている。

それで、戦争について学んでもらうための何処にもない場所として、「祈念史料室みゆき」を、私たちが残したのだと考えてもらえると嬉しい。

### 祈念史料室 みゆき だより (二)

#### 新型コロナウイルス禍での遺族会の在り方

愛媛県遺族会

副会長 西村 利明

史料室が開設してから丸三年が経過しました。その間、高齢化が進み、また、昨年より予期せぬコロナ禍により、社会環境は激変いたしました。

新型コロナウイルスは二〇一九年十二月以降、中国湖北省武漢市を中心に発生し、短期間で全世界に広がりました。現在ではワクチンが開発され、医療従事者から順次接種が始まっておりますが、日本全体にワクチンが行き渡り接種を終えるまでは時間がかかることが報道されております。治療法の確立がされ

ていない未知のウイルスと共存していくために、我々の生活様式も一変しました。愛媛県遺族会でも、昨年度の愛媛県遺族大会の中止に始まり、各地区慰霊祭の中止、愛媛県戦没者追悼式、慰霊大祭の縮小開催など高齢者の多い遺族の方々の安全を守ることに尽力しました。また、東京日本武道館で行われる全国戦没者追悼式は県としての参加を見送りました。愛媛県以外十九の府県が状況を鑑みての苦渋の決断でした。その中でも愛媛県の対応は早く、遺族としての追悼の思いを汲みながらも、感染者が多い東京への高齢の遺族の方々の移動での感染リスク、またそれによるウイルスの県内への持ち込みの危険を避けるため、安全安心を優先したものでした。

戦後七十五年を経て全国では戦没者を慰霊してきた地区遺族会の解散が増えています。遺族の高齢化で会員数が減り、活動の継続や資金不足が原因とのことです。戦争の記憶や風化させないために、遺族会が活動し平和の尊さを発信する機会は大切なことです。コロナ禍で従来の活動ができなかった本遺族会ですが、どのような時世においても御先祖様を慰霊する気持ちに変わりはありません。長く継続させるために必要なことは、伝統を受け継ぎながら時代に合ったものとして発展していく「遺族会の在り方」だと考えます。郷土のために尽くした戦没者のご遺徳や想

い、戦争の記憶を風化させず継承していくための大切な施設としての「祈念史料室みゆき」を大切に維持していきたいと思えます。新型コロナウイルス感染症の一日も早い終息と、季節の移り変わりを五感で感じられる日常が戻ることを祈念し、結びと致します。

## 第六十七回新穀献納慰霊祭

### 愛媛縣護國神社

令和二年度(第六十七回)新穀献納慰霊祭は一月十一日(月)午前十一時より、愛媛縣護國神社で厳かに執り行われた。

県郷友会永井会長が祭主となり斎行された。当日は寒冷えの厳しい中、新型コロナウイルス感染症予防のため自粛開催となり、ごく一部のご来賓、団体代表、会員代表三十名で斎行した。

県下会員、県民の御協力により拠出されたお初穂料・新穀を奉納し、英霊を御慰めした。今年度は前年度に近い集荷を達成することができ、御協力戴いた県民の皆様及び献納に御尽力戴いた会員に感謝申し上げます。

### 祭文

本日、愛媛縣護國神社の大前において、ご

来賓及び郷友会会員多数ご参列のもと第六十七回新穀献納慰霊祭が、厳かに執り行われるにあたり郷友会を代表して謹んで祭文を奏上致します。

この献穀運動は、幾多の事変、特に大東亜戦争において、戦禍に倒れ、あるいは、遠い異郷の地に亡くなられた郷土の英霊の皆様方に収穫された新米を献じることを企画し、日本郷友連盟の発足する三年前の昭和二十八年に始まりました。

今日の豊かな生活を享受できるのは尊い英霊の犠牲の上であり、感謝の誠を捧げる慰霊顕彰の伝統行事として会員の皆様の協力を得ながら続けて参りましたが、今では定着されております。

今後も永久不滅の愛のある愛媛県の誇れる伝統行事として継続実施する決意を新にしております。

しかし戦後七十五年も過ぎ、会員の高齢化による活動の衰退、減少が著しく、戦争を知らない世代である七十才以下の国民が八割以上を占めている今日、新型コロナウイルス感染症が世界中に蔓延し、この対策に各国とも苦慮致しております。

わが国は他国に比べ最小限の感染に止まっています。国内外の難問に対応するためどのような対策を講じていくべきかと苦慮する時代を迎え

ております。

私も日本郷友連盟は軍歴がなくとも誰でもが入会できる郷友会であります。

自分の国は自分で守るという国防意識の高揚、英霊・殉職自衛官の慰霊顕彰、栄光ある歴史及び伝統文化を継承するという、日本郷友連盟の理念でもある、三点の具現実行を通じて組織の強い活性化の維持に努めながら、先輩としてこの事業を語り継ぎ、継承・存続しなければならぬと痛感致しております。

今後におきましても私どもは御祭神四万九千七百二十八柱の方々のご加護を戴きながらこの事業を続け、百四十万県民のやさしさとパワーを結集し豊かで住みやすい郷土造りに専念努力する所存であります。

また自衛隊に関しては、最近の近隣諸国の動静は予断許しがたき不穏な行動が多く憂慮される中、益々のご奮闘を期待すると共に、その活動に対し限りなく最大限の支援を続けて参ります。

終わりになりましたが、在天の英霊どうか、御遺族の皆様をはじめ県民全てにご加護を賜り、安らかにお鎮まり下さいますよう祈念し祭文と致します。

令和三年一月十一日

愛媛県郷友会 会長 永井 之保

以上

式典終了後、宮司謝辞・献穀集荷実績報

告・記念撮影を行い、お直会は中止し持ち帰りの弁当を戴いて散会した。  
新型コロナウイルス感染症蔓延の中、会員皆様のご協力に感謝申し上げます。

『戦友団体等による慰霊祭』

令和二年

十月十日 公益社団法人愛媛県隊友会

十月三十一日 愛媛偕行石鉄会戦没者戦争裁判殉国者

『遺族会等による慰霊祭』

令和二年

十月十日 西条市河北遺族会(合同)

(三芳・楠河・庄内)

〈永代祭祀料上納金奉納者御芳名〉

令和三年二月

八幡浜市日土町

長岡 俊夫様

〔奉納者並びに寄贈図書〕

一、「平安神宮崇敬会二十年のあゆみ」

京都市左京区岡崎西天王町

平安神宮様

一、「特別攻撃隊全史」

東京都千代田区飯田橋

公益財団法人

特攻隊戦没者慰霊顕彰会

理事長 藤田 幸生様

一、「新・光の書 総集編」

千葉県千葉市緑区おゆみ野

二見 明子様

令和二年(十月)秋季慰霊大祭奉仕者

(敬称略)

献茶奉仕者(茶道裏千家淡交会松山支部)

淡交会松山支部

坂本 宋 粒

淡交会松山支部

古市 宋 文

献花奉仕者(愛媛県華道会)

聴春流 松山市勝山町

大井 緑

聴春流 松山市祝谷

福田 倫子



三浦保環境賞受賞・愛媛万葉苑学

愛媛万葉苑保存会

常任理事 藤原 茂

愛媛万葉苑保存会は去る二月十八日、三浦保環境賞実行委員会(あいテレビ(株)所管)から第十七回三浦保環境賞特別賞を頂きました。

この賞は(株)三浦工業創始者の三浦保氏夫人からの基金を基に、優れた環境保護活動を顕彰し環境活動の普及発展に寄与



することを目的としています。ささやかながら五十年余り続けてきた保存会の活動が顕彰され真に有難いことです。これも偏に多勢の先輩各位のご尽力の成果と、保存会の会員企業と奉仕者の皆様のご尽力のお陰です。改めてお礼申し上げます。

最近ではコロナ禍の中で会員企業も奉仕者の方も大変な時代ですが、疫禍にめげず精進して頑張りたいと希っております。

愛媛万葉苑学について

愛媛万葉苑も創設から凡そ五十三年になりました。そのせいで愛媛万葉苑の発足当時の経緯・事情などが疎くなってきました。そんなことから観光地の資料に倣って、「愛媛万葉苑学」を作って、奉仕者にお配りしています。参考までに紹介します。

愛媛万葉苑学(其の一)

- ① 萬葉集の読み方は…今はまんようしゅうと読む。まんようは中世以降の読み癖。
- ② 萬葉集の意味は…万(よろず)の言の葉の集。歌を葉に例えて多くの歌を集めたもの。

また、葉を世(代)と見て万世に伝われの意  
味。

③ 萬葉集が創られた時期は：最後の家持の歌  
が天平宝字三年(七五九)完成はそれ以降。

④ 萬葉集の編集者は：橘諸兄、諸兄と大伴家  
持の共編など説があるが、家持説が有力。

⑤ 萬葉集に納められた歌の数は、また有名な  
歌三首は：四千五百十六首で二十巻に編集さ  
れている。人気のある歌は(1)あかねさす紫野  
行き標野行き野守は見ずや君が袖振る(額田  
王) (2)石奔る垂水の上のさ蕨の萌え出ずる  
春になりけるかも(志貴皇子) (3)新しき年  
の始めの初春の今日降る雪のいや重け吉事  
(大伴家持)

⑥ 萬葉集所載の歌の種類は：大別して三種  
(雑歌、相聞歌、挽歌)、他に比喩歌、問答歌。

⑦ 雑歌とは：他の分類に入らないもの。羈旅  
歌、遊覧歌、詠物歌、回顧歌、述志歌、宴会  
歌など。

⑧ 相聞歌とは：相互の起居を問う。相聞往来  
ともいう。相互関係は様々だが恋愛関係が多  
い。

⑨ 挽歌とは：元来は棺を曳くときの歌で哀悼  
の歌。

⑩ 他に寄物陳思：物に寄せて思いを述べる歌  
もある。

⑪ 歌の形式は：短歌と長歌がある。短歌は三  
十一文字の歌。長歌は五十七音を二回以上繰  
り返し、更に五十七音の一句を反歌として加  
えて結ぶ歌。

⑫ 枕詞とは：一定の語を言い出すためにその  
上に冠する修飾的な語句。五音が多い。

⑬ 植物を詠んだ歌は：凡そ千七百首あるが登  
場する植物は百六十種以上と言われている。

⑭ 全国にある万葉植物園は：平成九年の調査  
では七十二カ所あったが、今は四十カ所くら  
いか？

⑮ 萬葉集に収められた伊予に縁の歌は：  
熟田津に船乗りせむと月待てば  
潮も叶ひぬ今は漕ぎいでな  
(巻一〇八) 額田王

君が行き日長くなりぬ山たづの  
迎へを行かむ待つにはまたじ  
(巻二〇九〇) 衣通王

皇祖神の神の御言の……(長歌以下略)  
百敷きの大宮人の饒田津に  
船乗りしけむ年の知らなく  
(巻三〇三二二) 山部赤人

柔田津に船乗りせむと聞きしなへ  
何そも君が見え来ずあるらむ  
(巻十二〇三二〇二) 作者不詳

他にも  
佐し鍋に湯わ可せ子供櫛津の  
ひば志よりこむ狐にあむさむ  
(巻十六〇三八二四) 長忌寸意吉麻呂  
(西条市下島山櫛津に歌碑があるが、大和  
郡山市の異説もある)

妻隠る矢野の神山露霜に  
にはひ初めたり散らまおしくも  
(巻十〇二一七八) 柿本人麻呂

皇祖の神の御言の……伊予の高嶺の伊佐庭  
のみ湯の上の木群を見ればおみの木もおい  
つぎにけり……(巻三〇三二二) 山部赤人  
(以下・次号へ)

(八幡浜市清水町矢野八幡神社に歌碑があ  
るが出雲市・三重県などの異説もある)

⑯ 植物を詠んだ愛媛ゆかりの歌は：  
君が行き日長くなりぬ山たづの  
迎へを行かむ待つには待たじ  
(巻二〇九〇) 衣通王

皇祖の神の御言の……伊予の高嶺の伊佐庭  
のみ湯の上の木群を見ればおみの木もおい  
つぎにけり……(巻三〇三二二) 山部赤人  
(以下・次号へ)

皇祖の神の御言の……伊予の高嶺の伊佐庭  
のみ湯の上の木群を見ればおみの木もおい  
つぎにけり……(巻三〇三二二) 山部赤人  
(以下・次号へ)

皇祖の神の御言の……伊予の高嶺の伊佐庭  
のみ湯の上の木群を見ればおみの木もおい  
つぎにけり……(巻三〇三二二) 山部赤人  
(以下・次号へ)



野外「万葉苑学」教室 (保存会による定期清掃奉仕・令和三年三月十四日)

正式参拝

☆令和二年十月二十三日  
堀江町遺族会

代表 光宗浩三様  
計六名

☆令和二年十月二十六日  
愛南町遺族会

会長 宮谷敏彦様  
計十名



☆令和二年十一月十九日  
西条市東予地区遺族会

会長 長井幸雄様  
愛媛県議會議員

明比昭治様  
計十八名



☆令和二年十一月二十九日  
ボーイスカウト神道宗教章  
講習会

計五名



☆令和二年十二月三日  
松山市遺族会役員会

会長 西村利明様  
計四十名

☆令和二年十二月八日  
愛媛県神社庁祭式委員会

理事 正岡一男様  
計十九名



☆令和二年十二月十三日  
煤払式

ボーイスカウト松山第十六団  
団委員長 小島伸治様  
計四十名

☆令和三年一月二十五日  
愛媛県神社庁松山支部

支部長 渡部定詔様  
計三名



☆令和三年二月十一日  
建国記念の日

日本会議愛媛県本部  
会長代行 横田弘之様  
計十一名

☆令和三年二月十三日  
神道宗教章授与式

ボーイスカウト松山第三十四団  
ベンチャー隊 高田佳音様  
計五名

☆令和三年二月二十五日  
松山市遺族会役員会

会長 西村利明様  
計四十名

# 愛媛縣護國神社英靈顕彰会 入会と継続のご案内

平成26年11月の設立以来、ご理解ご協力を賜り感謝申し上げます。  
今後も英靈のご遺徳を顕彰し後世に伝えてゆくために、愛媛縣護國  
神社英靈顕彰会へのご入会と継続のご協力をお願い申し上げます。  
お問い合わせは、下記迄お願い致します。

愛媛縣護國神社 英靈顕彰会事務局 TEL (089) 925-2353

## 英靈顕彰会会員の特典

各特典	正会員	賛助会員	特別会員	備考
会費(年額)	3,000円以上	10,000円以上	100,000円以上	
会員対象	個人	個人・団体	個人・団体	
神札	御守	紙札	木札(小)	年1回発送
社報	年2回発送	年2回発送	年2回発送	
春秋大祭案内	×	×	○	一般来賓案内
顕彰石彫	×	×	○	

御祈祷(お祓い)の  
御案内

当社では各種祈願を随時お  
受けしております。

時間等は社務所へお問い合  
わせ下さい。

初宮詣  
七五三詣  
厄除け  
交通安全  
家内安全  
合格祈願  
社運隆昌  
新年特別祈  
その他